

城北防災だより

2023/7/26

61号

城北地区防災対策協議会
事務局：城北地区公民館

『城北納涼まつり』で、備蓄水について考えてみませんか？

多くの住民が足を運ぶ「城北納涼まつり」(8月5日[土] 18:00~20:00)と「防災会」の
コラボ企画として、“災害用備蓄水”を、希望者に1人「1本」無料配布します。

『備蓄水』の重要性と、減災への備えについて考えてもらうことを目的に
しています。その場で、試飲されても結構ですが、持ち帰って備蓄水として保存
されることをお勧めします。避難時の持ち運びに適した内容量490mlで、光
を通さないアルミ製です。賞味期限は製造から10年です。

*鳥取市給水開始100周年記念ボトル水：『災害用備蓄水』

かねてから、城北地区には集中豪雨による外水氾濫・内水氾濫、地震、津波
などの災害リスクをお知らせし、何度となく注意喚起してきました。

災害発生時に、備蓄品の中でも、特に重要度が高いのが“水”です。

人間の体の約60%を構成するのが水です。水は血液中の水分を各臓器に運び、
腎臓では、体内に蓄積した老廃物を尿として体外に排出させます。呼吸や発汗
にも水は使用されています。体内の水分を20%失うと、命の危険があるとさ
いわれています。特に気温が高い時期は、汗をたくさんかいて、水分がすぐに
失われがちです。

災害で命が助かって、水の確保ができずに命を落とすことがあります。

災害用備蓄水の量については、“大人1人あたり1日3リットル”が目安とさ
れています。鳥取市の場合は、『3日分 9リットル』を備えることを推奨して
います。

今回、鳥取市の江山浄水場で膜ろ過した水道水を原料とした『災害用備蓄水』
の提供を、鳥取市水道局から受けました。



令和4年度鳥取市水道事業概要によりま
すと、江山浄水場の水道水の硬度は、平均
で約50mg/LですのでWHOの基準では「軟水」
に分類されます。「軟水」は、「硬水」に比
べて飲みやすく、料理や赤ちゃんのミルク
などにも使いやすい水とされています。

災害に備えて、水道水をペットボトルに入れて、備蓄水を作る方法もありま
すが注意が必要です。水道水には残留塩素が含まれ、微生物の繁殖を抑える役
割を担っています。(煮沸すると塩素が抜けます)しかし、時間の経過で少しずつ減って
いきます。保存期間は、地域によって塩素の残留濃度に差があり、鳥取市の水道水
の備蓄期間は、常温で3日程度。冷蔵庫では7日程度だそうです。

災害時、道路が寸断され応急給水車の到着が遅れることや、応急給水の行列に
並び、ポリタンク等に入れた重い水を自宅まで持って帰ることは大変な労力です。

台風の接近時 等、災害が想定される場合は、水道水の備蓄をお勧めします。

【水道水の備蓄(くみ置き)方法】 ~大阪市水道局ホームページより抜粋~

- 1 ペットボトルやポリタンクなど、ふたのできる容器を用意し、十分に洗います。
- 2 水道水を直接蛇口から容器に入れ、空気が残らないように満タンにします。
- 3 しっかりふたをし、直接日光のあたらない、冷暗所で保管します。
- 4 水道水中の消毒用塩素が消失し、細菌が繁殖するおそれがありますので、
3日程度で定期的に入れ替えましょう。